

令和7年4月～令和8年3月 いきものガイドウォーク(全10回) 予定と実績

月	日	担当	観察内容	写真1	写真2	コース図
4	26	芳野光夫 善宝俊文	<p>開催日時：2025年4月26日(土) 10:00～11:04</p> <p>天候：曇り 参加者：18名(他に子供2名) テーマ：新緑と初夏の花 報告者：善宝俊文</p> <p>4月下旬にしてはやや肌寒い中での開催となった。1週間余り前の下見の時は咲いていなかったミズキは花を開いていたが、楽しみにしていたユリノキは蕾のままだった。</p> <p>&lt;観察したもの&gt;フジ(ノダフジ。右巻きであること。まだ花はまばらだった。)。ヤマボウシの花。イチョウ並木の新葉(ジュラ紀からの生き残りであること)。トウカエデの花。ムクノキの花(樹皮の特徴)。エノキの実。ヤマザクラの巨木。ギョイコウ(御衣黄)。ハナミズキ。タケ(竹の秋。タケの成長。)。マツ(この時期の剪定の仕方)。ヒメウツギなど。</p>	 <p><b>ミズキ(ミズキ科ミズキ属)</b> 山地に普通に生え、日当たりの良い沢沿いに多い。 名は、春先に枝を切ると水のような樹液が多量に流れ出すことから。 枝が幹から車輪状に出て、あまり斜上せず伸びるため、樹形は独特の階段状となる。成長が早いため、ときに街路樹や公園の緑陰樹として植栽されることも多い。材は細工しやすく、玩具や器、箸などに使われる。</p>	 <p><b>ユリノキ(モクレン科ユリノキ属)</b> 北米原産。世界の温帯各地で広く栽培される。 現地では60mもの大木に成り、インディアンは昔これで丸木舟を作った。 日本には明治の初めに渡来し、街路樹などとして栽培される。高さ20m。5月、枝先にチューリップに似た黄緑色の花をつける。花弁の基部は明るい橙色。葉ははんでんのような形をしている。</p>	
5	24	河野桑原				
6	28	渡辺二宮				
9	27	善宝毛利				
10	18	池田河野	テーマ：昆虫			
11	22	久保桑原				
12	20	松本毛利				
1	24	芳野久保				
2	28	渡辺鈴木	テーマ：バードウォッチング			
3	28	二宮佐藤				